



2025年7月7日 さんいく保育園有明 看護師

暑い日が続くようになり、熱中症が心配な時期となりました。身体が暑さに慣れていない梅雨明けや急激に 気温が上がった日は特に注意が必要です。水分補給や体調管理に気を付けながら、暑い夏を乗り越えていき ましょう!

★気を付けたい 子どもの夏風邪

★ヘルパンギーナ

突然の高熱(38~40℃)とのどの痛み、口の中の水ほう、口内 炎が特徴。症状が軽ければ、1~4日くらいで解熱する。

【登園の目安】

熱や口の中の水ほう、口内炎が治まり、

普段の食事がとれるようになってから。

医師判断の下、保護者記入の『登園届』が必要です。

★手足口病

手の平、足の裏、口の中に水ほうができ、 発熱することもある。

【登園の目安】

熱や口の中の水ほうの影響がなく、普段の食事がとれるよう になってから。

医師判断の下、保護者記入の『登園届』が必要です。















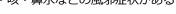
0

O





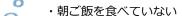
・軟便・下痢が出ている

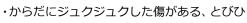




・薬を飲んでいる、貼用薬を貼っている







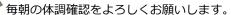


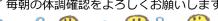


・アタマジラミがある

○ その他皮膚疾患がある場合は、園で判断させて いただきます









★咽頭結膜熱(プール熱)

高熱(38~40℃)が3~5日くらい続き、のどの痛み、 目の充血やかゆみなど結膜炎の症状も出る。

【登園の目安】

主な症状が完全に消えてから2日経過した後 医師による『意見書』が必要です。

★おうちで休むときは

暑さや熱で水分が失われると、口の中やのどに痛みが 出やすく、食べるのを嫌がりがち。ゼリーなどの口当た りのよいものを少しずつとらせ、脱水にならないよう に気を付けましょう。夏風邪は、どれも特効薬はありま せん。しっかり休んで回復させるほうが、ぶり返しにく く、長引きません。

▽皮膚のケア▽

子どもは新陳代謝が活発で、たくさんの汗をかきます。 放っておくと皮膚(ひふ)のトラブルにもつながるので、 体を清潔にして快適な毎日を送れるようにしましょう。 下記の他に濡れタオルで優しく拭き取ることも効果的で す。



汗をかいたら、こまめにシャワーを 浴びましょう。

お風呂上がりは、バスタオルでし っかり体を拭きましょう。あせも ができている時は、上から優しく 押さえて水気を取ります。







乳児には、お風呂上がりの清潔 な状態で、保湿クリームをつけ ましょう。